

選手入場時に旗を振ってください！

座席にセットさせていただいているエリアもございます。配布させていただいておりますのでお持ちでない方は、声をかけていただけますでしょうか。

少しでも選手を後押ししたい。

そんな気持ちから私達は小旗を2,000本作成いたしました。

旗は巻いた状態で回収ボックスにご返却いただけますでしょうか。

皆様のご協力をお願いいたします。

「奈良安剛」

私にとって、ツエーゲン金沢と闘うには避けては通れない名前です。

奈良選手は、私が山雅を応援するきっかけになったファンタジスタです。たまたまつけたTVに写っていた2006年天皇杯長野県予選決勝、これで初めて山雅の試合を観たんです。そこで観た奈良の創造性溢れたプレーの数々。長野を沈めたゴール。痺れましたね。正直、それまでは地域リーグのサッカーをなめてたんです。恥ずかしながら…リーグを含めて、日本のサッカーあんまり観ませんでした。海外サッカーばかりだったんです。しかし、奈良のプレーを目の当たりにして以来、どっぷりと日本のサッカー、山雅のサッカーにハマらせてもらいました。奈良選手が、大袈裟に言ったら、私と日本のサッカーとを再び結び付けてくれた恩人と言っても過言じゃないですね(笑) その奈良が2007年度に移籍…しかも地域のライバルである金沢へ…衝撃でしたね。今でも覚えてますが、その年の全社の予選、アルウィンのサブグラウンドでしたが、奈良選手の移籍が決まった直後の試合でした。試合前の選手コールを全て終わらせた後、その時コールをリードしていた方から「今日、どうしてもこれをやらせてくれ」と、一発コールがはいりました。

「俺達の奈良が今日もゴール決めて！ガンズを勝利に導くゴール！」

奈良コールです。奈良選手がサボからどれだけ愛されていたかを、またサポーターがどれだけ熱い思いを持って山雅に声援を送っていたのかを、痛切に思い知らされた瞬間でした。それだけに、その後の赤いユニフォームをまとった奈良選手を見る事は、ぶっちゃけた話、かなり辛かったです。私は外部の人間なんて、奈良選手が何故退団に至ったのか、その詳しい経緯は分かりません。互いにやむにやまれぬ事情があったのでしょう。

いよいよ前半の山場、昨年の4強対決の第1ラウンド、俺たちのホーム、アルウィンでの金沢戦です。奈良選手がアルウィンに帰ってきます。赤いユニフォームをまとった、宿敵「ツエーゲン金沢」の一員として。俺達の敵として、立ちふさがってきます。でも、「俺達の奈良」に見せてやろうぜ。山雅の強さを！誇りを！山雅が一番強いって事を！見せてやろうぜ。サポーターの熱さを！情熱を！山雅を愛する揺るぎない信念を！見せてやろうぜ。アルウィンでサッカーが出来る事の素晴らしさ！スタンドから熱い声援が降り注ぐ事の素晴らしさを！さあ、今日ここから、今年の山雅の前進、後に語り継がれる伝説が生まれるんだ。

敵散らせ！金沢！

【written by ねすた】

チームに勢いがついてきました。富山戦での逆転勝ち、石川戦での4点を奪っての快勝。前節では柿本や賢太郎が攻撃陣が力を発揮してくれました。もちろん課題はありますが、やはりこのチームには地力があります。また試合を経るごとに確実にチームの状態は上向いてきています。

そしていよいよ上位陣との対戦が始まります。今日の試合は今シーズンの趨勢を決める重要な試合です。対戦相手はツエーゲン金沢。ここまでの4試合で総得点22点の攻撃的なチームです。おそらく実力・調子とも現在リーグ内で最強の相手でしょう。苦しい試合展開になるかもしれませんが、でもそんな時こそ皆の声で選手を後押ししましょう。

選手により良いプレーをしてもらうための方法の一つに寝るがあります。自分が好きな選手になったことを想像してみてください。自分のプレーに対して、スタジアムの観衆が一斉に拍手を送る。自分のプレーの意図をわかってくれるサポーターの存在に心躍ることでしょう。そして自信を深め、「積極的に」自分の色を出そうとしましょう。今日の戦いで私たちがすべきことは、今までで最高のパフォーマンスを発揮することです。今までのチームのパフォーマンスではダメです。今までの120%の力を出して初めて勝てる相手です。選手に自信を持ってもらうため良いプレーには積極的に拍手をしましょう。また選手に今まで以上のプレーをしてもらうため、僕らも今まで以上の応援をしましょう。より多く拍手をするもよし。より大きな声で声援を送るもよし。より激しくタオルマフラーを振り回すもよし。どんなことでもいいです。皆さんの応援スタイルを今節で一つレベルアップさせてください。選手・スタッフ・サポーター一人一人が、今までより「もう一歩」前へ踏み出せば、絶対に良い結果に結びつきます。さあ勝ちましょう！

【written by 桃太郎】

私事で恐縮ですが、今年の春、人事異動で関東から中京へ引っ越した。それに伴って仕事の内容もすっかり変わり、日曜日に休みが取れなくなった。山雅の試合に行くことが出来ない。

アルウィンで、愛するチームの勝利を望む仲間たちと共に声を張り上げることが出来ない。頭では理解していた事実ではあるが、いざシーズンが始まってみると想像以上に堪える。昨年はほとんどの試合に行っていたけになおさらだ。

その日を待ちわびたサポーターたちの情熱に満ち溢れた顔、顔、顔。選手紹介、選手入場、試合開始に向けてひたすらに高まる緊張感。選手の一挙手一投足に注目し、ままたまらないボールの行方に一喜一憂し、チームの勝利をたぐい一途に信じて声援を送る。そして、試合終了のホイッスルが高らかに鳴り響く瞬間、ボルテージは最高潮に達する。

こうしてこの原稿を書いている、試合の日のアルウィンの情景はありありと思い浮かぶことが出来る。だけど、今年はその中に身を置く事が出来ない。山雅の試合を見る事が出来ない歯痒さはもちろん大きい。でも、裏を返せばそれだけ自分は山雅のことが好きなんだ、とも思う。

今回の試合も、おそらくアルウィンに赴くことは出来ない。もしかしたら、今年は一試合も行くことが出来ずにシーズンが終わるかもしれない、自分は信じている。同じ想いを抱いた仲間たちが、自分に代わって選手を必ず奮い立たせてくれることを。

ツエーゲン金沢は、現在リーグ首位を走る手強い相手だ。もしかしたら、もう駄目かもしれないと思うこともあるかもしれない。もし貴方がそう感じたときは、ピッチを見てほしい。きっとそこには、緑を纏った愛する山雅の選手たちが、最後の瞬間まで勝負を諦めることなくピッチを疾走しているはずだ。そして、周りを見渡してほしい。貴方の隣には、声を震らし、手のひらを真っ赤にしながら山雅のために声援を送り続けている仲間が、きっといるはずだ。そして、感じ取ってほしい。アルウィンに行くことが出来なくても、愛する山雅の勝利を祈っている幾多の人々の想いが、きっと貴方に届くはずだ。それぞれの想い、みんなの想い。それはきっと選手に、そして貴方に、目の前の困難に立ち向かい、打ち砕く勇氣と力を必ず与えてくれる。ありったけの声を出そう。力いっぱい手を鳴らそう。山雅を愛する全ての人々の想いを結集して、赤い強固な壁に立ち向かおう。その先に必ず歓喜の瞬間が待っている、自分は信じている。

【written by ぜろわん】

アメリカへの出張が頻繁にあつた頃、MLBやNBAを何度か観た(ホントはヨーロッパでサッカーも観たかったんだけど)。そこには、地元チームのユニフォームやキャップを身に付け、いじちゃん、ばあちゃん、とうちゃん、かあちゃん、そして子供たちが一緒にスタジアム/アリーナへ向かい、スタジアム/アリーナで応援する風景があった。松本平には、こんな風景ないよおー!!元タスポーツ観戦大好きな私にとって、「プロスポーツをライブで当たり前のよう観ることが出来る。地元チームを応援できる。」のはとても憧れるものだったんだ。

そんな頃、地元新聞に目をやると、『信州からJを目指す松本山雅FC!! 入場無料!』が目に入った。また松本山雅FCが北信越リーグの2部にいた2005年春のことだった。「へえ、こんなチームがあるんだ。このチームがへあがれば、アメリカで観た光景、憧れた光景を実現することができるぞ!まずは観に行こう!その頃は、アルウィンサブでの試合も当たり前のようにあり今となれば懐かしく…。アルウィンメインの試合も時にはあったな。。。

家族4人で見るとアルウィンメインの場所は「憧れのプレス席」。こんな場所で観ることができて、しかも無料!試合前後も含めて日曜日の2、3時間を好きなスポーツ観戦で過ごすことができる!すごくコストパフォーマンスが高いよ、これは!!それから、週末の山雅の試合が楽しみで…。2005年はそんな訳でプレス席が指定席だったけど、2006年は少し前進してプレス席の下の通路のすぐ下側、2007年はメインスタンド中央前方ホーム側と場所を変え、山雅への熱意も家族全員年々上昇!ゴール裏でも何度か参戦したけど、今はメインが居場所。ゴール裏も、メインも、バックスタンドも一体になってピッチにいる選手をサポートしたい!

今年のGWにJ2の試合を2試合観ただけで、ホームチームのサポーターの行動が正反対。最初に観たチーム、ゴール裏の一部は盛り上がり。でも、メインは人がかなり少なく、バックスタンドは小さな屋根の下に密集。そして、メインもバックもチームのコールは皆無に等しい。声を出している、チームを盛り上げているのはゴール裏の一部だけ。一方、別の試合のホームチームはアルウィンのゴール裏一部を除くとほとんどがチームカラーに染まっている。そしてバックスタンドにいる人もタオルを掲げたり回したり、それにチームのコールをしたり、とにかくスタジアム全体が盛り上がり。この両チームそれぞれ、チームとしての歴史、経験に大きな違いがあるもの、同じJ2のカテゴリでここまで差があるなんて…。もちろん目指すは後者のチーム!

そうすると、これからの山雅……。1. 当然Jリーグ入り! 2. やっぱアルウィンを緑に染める!

この2つを達成したとき、どんな気分なんだろう。。。泣いちゃうんだろうな。。でも、その日が来ることを信じて、これからもいろいろなる角度から山雅を応援し、サポートし続けます!その為にも、とにかく1人でも多くの人に山雅を知ってもらって、1人でも多くの方がアルウィンへ足を運んでくれるように!この記事を読んでくれた人が1人でも2人でも次の試合にアルウィンへ誰かを連れて来てくれれば本望。1人1人の小さな行動が、いずれ大きな輪となり、アルウィンを緑に染めるはず!松本平・北安・諏訪平・伊那・木曾を盛り上げよう!!もちろん県外からも大歓迎!!

【written by Kenny】

#7 川田 和宏

原曲：Brahman/deep

走れ川田 勝利のため 川田!ラララ ラーラーラーラー
決めるゴール その左で 川田!ラララ ラーラーラー

#10 柿本 倫明

原曲：ゴダイゴ/Beautiful Name

カキモト ミチアキ! カキモト! ミチアキ!

#11 吉田 賢太郎

Hi-STANDARD/Stay Gold

ラーラーラ 吉田賢太郎 get GOAL!
ラーラーラ 吉田賢太郎 get GOAL!

#19 阿部 琢久哉

原曲：映画『Song of the south』より「Zip-A-Dee-Doo-Dah」

俺たちのタクヤ ラーラーラララ ララララ
俺たちのタクヤ ラララララ ララララ

#23 鈴木 亮平

原曲：TRIPLE CLUTCH/TASTE GOOD

鈴木亮平、亮平!俺たちのー 鈴木亮平! ×2

#25 大西 康平

原曲：the band apart/snowscape

オーオ 大西康平!オーオ 大西康平!

#30 原 裕晃

原曲：矢沢永吉/止まらないHa~Ha

魅せてくれ! (HA~RA!)
俺たちの! (HA~RA!)
守護神!守護神、守護神 to win!

New song!